



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1124

29.09.2024 (135)

アドルフ・ヒトラー

最愛の総統

パート 1

はじめに

アドルフ・ヒトラーは確かに、どの国の指導者よりも最も愛されていた！

この愛が彼を効果的にした。この効果によって、彼は敵に恐れられた。この恐怖が、毎年、10年後、10年後、敵に彼を酷評させるのである。

愛は憎しみに負けることはない。真実は嘘によって根絶することはできない。高貴さは卑劣さによって破壊されることはない。

いつか流れは変わるだろう...

ゲルハルト・ラウク

1999年10月(110)

アドルフ・ヒトラーとは？

マイケル・ストーム

アドルフ・ヒトラー総統は非常に才能に恵まれた人物だった。戦争指導者、政治指導者、建築家など、非常に困難な役割を数多くこなした。私が思うに、最もよく認識されている役割、すなわち戦争指導者というのは、真の内面的な人間ではなかった。彼は全身全霊で仕事に取り組んだが、それは彼の内なる天職ではなかった。(例えば、彼は1943年後半まで経済の全面戦争への転換を拒否し、1944年までドイツ人女性の戦争への徴兵を拒否した。)

総統は確かに政治指導者としての才能に恵まれ、行動的な政治家であったが、それは外面的な役割であって、内面的な人間を満足させるものではなかった。東部戦線における冬の危機の後、総統が引き受けざるを得なかった戦争責任者の役割に、それらは後回しにされた。

アドルフ・ヒトラーの内面的な本質は、その生涯のすべてに見られるように、建築家である。この事実を検証することが、今年の誕生日記事の目的である。ユダヤメディアがわれわれの敬愛する総統に対して抱いている否定的なイメージとは裏腹に、彼は歴史上もっとも積極的で建設的な指導者であった。

少年時代、彼は画家になりたかった。そして若い頃は画家として生計を立てていた。しかし、ウィーンの大学を受験して初めて、彼は自分の内なる真の天職を発見した。美術大学は彼の願書を却下した。しかし、彼らは彼に、彼の将来は建築の分野にあるのだから、この分野に身を置くべきだと言った。

アドルフ・ヒトラーはその生涯を通じて、家、建物、スタジアム、橋、労働地区、都市全体を設計した。そのどれもが、彼の最も内面的な自己の個人的な刻印を持っていた。総統のアイデア、スケッチ、図面、模型を現実のものにするのは、帝国の主任建築家としてアルベルト・シュペーアの仕事だった。総統の夢が形になるにつれ、コンクリート、ガラス、鉄鋼の工場がドイツ全土に誕生した。総統の建設計画は 1933 年から 1943 年まで続いた。しかし、ドイツには 10 年という短い期間に、構想されたプロジェクトのほんの一部を開始するのに十分な労働者も原材料もなかった。

1944 年まで、ドイツの軍備は彼の建設計画の後塵を拝していた。1938 年には、フランスが単独でドイツを上回る軍備投資を行った。1939 年、イギリスは空軍に、ヘルマン・ゲーリングがドイツ空軍に費やした以上の資源を費やした。1940 年、フランスはドイツの 2 倍の最新戦車を保有していた。そしてこの 2 つのいわゆる平和を愛する民主主義国家は、人類が知る限り最も巨大な戦争でドイツを包囲した巨大な連合国の中で最も弱かった。それでも、アメリカ、ソ連、イギリス、フランスなどの連合国が小ドイツを圧倒するのに 6 年以上かかった。- 小さなドイツを圧倒するのに 6 年以上かかった。

アウトバーン、建物、都市を物理的に創造することは、総統にとって非常に優先順位の高いことであったのは明らかだ。しかし、これらの巨大なプ

ロジェクトでさえ、はるかに偉大な彼の内面を十分に示すことはできない。

アドルフ・ヒトラーは、無名の NSDAP に 7 人目のメンバーとして参加したとき、強力な政治機構を作るための運動を開始した。このようなことは、彼の内なる意欲なしには不可能であっただろう。党機構を構築するのは容易なことではなく、その過程で手ごわい敵と戦わなければならなかった。党の政治部門が数百万人の党員に成長するにつれて、総統は各党員が個人的な運命を全うできるように、運動の数多くの支部を創設した。もちろん最も有名なのは、S.S.、S.A.、ヒトラーユーゲントである。しかし、それ以外にも労働者、農民、学生などを支援するもっと大きな組織が何十も存在した。総統の才能は非常に偉大で、事実上すべての人が国家組織に組み込まれ、そこで各自が最も得意とすることで満足感を得ることができた。

アドルフ・ヒトラーは、想像しうる限り最も不利な条件下で、世界史上最も包括的な政治運動を築き上げただけでなく、ヨーロッパ最強の経済も作り上げた。総統が 1933 年 1 月 30 日に権力を握ったとき、ドイツ経済は焼け野原で、くすぶり続けていた。失業率は 25% を超えていた。ドイツマルクは無価値だった。ユダヤ人世界恐慌とイギリスがドイツに世界市場への参入を認めなかったため、国際貿易は不可能だった。オーストリアとの関税同盟でさえ、ベルサイユ条約によって禁じられていた。要するに、ドイツは困窮し、敵対国からの保護主義の壁に囲まれていたのである。ドイツは永遠に経済奴隷であり続けることになった。さらに追い打ちをかけるように、ニューヨークを拠点とする世界ユダヤ連盟が国家社会主義ドイツに宣戦布告した。彼らはドイツに対する世界経済ボイコットを呼びかけ、世界中の経済的、政治的コネクションのすべてを利用して、ドイツの首を絞めた。

総統は、絶望的とも思える仕事にもめげなかった。無軌道な国家の指導者に就任して数時間のうちに、新しい国民経済を建設するという至難の業を開始した。総統のエネルギーは信じられないほどの速さで、活気のない経済を活力、力強さ、活力に満ちたものに変えた。何百万人もの人々が仕事に復帰した。家庭は再び築かれた。真の意味での希望がドイツ生活のあらゆる部分に浸透した。1938年までには、ドイツ経済はヨーロッパで最も力強いものとなった。深刻な労働力不足にさえ見舞われた。イタリア人、ポーランド人、フランス人が家族を養うためにドイツに集まった。

世界平和にとって悲しいことに、国家社会主義ドイツだけが、世界恐慌のユダヤの触手から自由になるために戦った。1941年12月7日、アメリカはまだその魔の手にあった。戦争によって配給が強制されただけで、戦後のイギリスは、帝国を除けば戦前の大不況に逆戻りした。

都市の建設、党の建設、経済の建設など、これらの業績は途方もないものであるが、総統の人生の頂点に立つ業績ではない。1930年代、アドルフ・ヒトラーは世界の指導者たちに、国家社会主義は輸出のためのものではないと繰り返し断言し、マルクス主義ユダヤ人超国家の世界征服を求めてあらゆる国々を侵略するユダヤ人ボルシェビキ・インターナショナルとは対照的な政策をとった。国家社会主義革命はドイツだけのものであり、退廃した富裕民主主義国家は何も恐れることはない。しかし、彼らは恐れた！

アーリア人の純粋性の復活に対するユダヤ人の憎悪は、国家社会主義ドイツがユダヤ人のクローンと戦う世界戦争で頂点に達した。戦争は、ユダヤ人が支配する敵対的な世界でドイツが生き残るために戦う民族闘争として始まった。しかし、戦争が進むにつれて、何万人もの志願兵がドイツのた

めだけでなく、新しい世界秩序のために戦おうと、国家社会主義の旗に群がった。彼らの目標は、統一アーリア人のヨーロッパを作ることだった。

当初、ヒトラーはこれに反対していた。彼はドイツの平和を望んでいただけだった。しかし、戦争が局地化できないことが明らかになると、彼の見解はドイツ的なものから汎アーリア的なヨーロッパ的なものへと発展した！小さなドイツが、リスボンからモスクワまで広がるアーリア人国家社会主義ヨーロッパの原動力となる。ドイツは無敵の超大国となり、アメリカのユダヤ人富国強兵主義やソ連のユダヤ人ポリシェヴィズムと互角以上に渡り合うだろう。

レオン・デグレル將軍は東部戦線でヴァッフエン S.S.ベルギー軍を率いた。彼らは汎アーリア的ヨーロッパにおけるベルギーの地位のために戦った。ヒトラーは彼（と彼の部下たち）を最も尊敬していた。1945年には、もし自分に息子がいたら、レオン・デグレルのようになってほしいとまで言っている！

戦争末期までに総統は、真に汎アーリア的なヨーロッパ運動を築き上げ、何十万人もの人々を単に支持するだけでなく、帝国の絶望的な最後の時でさえも、総統のために戦い、血を流すように仕向けた。ベルリンの総統地下壕は、ヴァッフエン S.S.の外国人志願兵によって最後まで守られた。

何世紀にもわたって分断されていたヨーロッパを統一するという信じがたい偉業は、総統の最高の功績であっただけではない。それはまた、国家社会主義をドイツだけの運動から今日の世界的な汎アーリア現象へと進化させ続けるきっかけでもある。この真の世界平和の夢は、世界中の何百万人もの白人の心に強く刻まれている。

アドルフ・ヒトラーは、あらゆる指導者の中で最も偉大な人物だった。彼が私たちに残した遺産は、汎アーリア民族社会主義という新しい世界秩序に基づく世界平和の構想である。簡単に言えば、すべての白人がアーリア人の兄弟団に団結し、そこでわれわれの集団的な天才性、労働力、人種的優越性の恩恵を分かち合うということである。

月 20 日は敬愛する指導者アドルフ・ヒトラーの誕生日である。購読者、支持者、活動家がそれぞれ祝う一方で、「総統の最も重要な仕事を完成させるために、私は何をすべきなのか？このますます敵対的になる非白人世界において、アーリア人の子供たちの生存を確保するために、私は何ができるだろうか？

我々の殉職した指導者アドルフ・ヒトラーのアーリア人種統一の夢を偲んで。 - ハイル・ヒトラー

巡礼

カッティ

「今日、運命が私の生まれ故郷としてブラウンアムインを選んだことは、私にとって摂理であったように思える。そして、この国境沿いの小さな町が、私には偉大な使命の象徴のように思える。

アドルフ・ヒトラー『MEIN KAMPF』第1巻第1章

ザルツブルグを出発した列車が、ジンジャーブレッドのような村々に銀色の川が交錯する緑の田園地帯を疾走するにつれ、私はシカゴからの数千マイルと3日間の旅(旅客機、フェリーボート、鉄道)を感じ始めていた。黒と灰色の雲が原始の山々を低く覆い、ゴツゴツした山頂を隠したり見せたりしていた。しかし、私は爽快感よりも疲労のほうが強く、フレンドリーなガストホーフの暖かいベッドが恋しかった。

疲れが吹き飛び、アドレナリンが分泌され、"Braunau am Inn"と書かれた次の駅で停車した。この小さな中世の町に到着するのは何ヶ月も前から計画していたことだったが、車窓から初めてその駅名を見たときは衝撃的だった。やった!バックパックを背負い、冷たい土砂降りの中を駅から数キロの寂しいリンツァー・シュトラッセまで歩いた。私は幸運だった。マイブロイ・ガストホーフに問い合わせると、女将は「ブラウナウの他のホテルはどこも予約でいっぱい、何ヶ月も前から埋まっていることが多い」と言った。「不思議に思わないわ」と私が言うと、彼女は微笑んだ。「今月は世界中がここに集まっているのよ」。「何ですって?私は息をのんだ。「待ってて。待ってて。そして彼女は、快適な個室で彼女の謎について考えるために、私を一人にした。

夜明けに目を覚ますと、昨日のわか雨でまだ湿った朝だった。しかし、町は村の活気に満ちており、私は、何世紀も前の伝統的な建物や通りに、現代的な生活様式の店や家が見事に調和していることに感嘆した。リンツァー・シュトラッセの端まで行くと、中世そのままの風通しの良いマーケット広場に出た。その南端にはザルツブルガー・トール(Salzburger Tor)と呼ばれる巨大なアーチが立っていた。反対側には、イン川の小さな支流

に架かる橋がある。トールから 150 メートルほど離れたところに、白壁の大きな建物がある。オーストリアの無名の町にある、一見何の変哲もないこの建物に、私は地球の裏側から訪ねてきたのだ。というのも、このザルツブルガー・フォルシュタットの家で、地球上で最も偉大な息子が生まれ、私は彼の 100 歳の誕生日を祝うためにやってきたのだ。

翌日、オーストリア軍の正規軍と特殊部隊が突然ブラウナウ・アム・インを占領したのだ。ドイツ国境への橋は封鎖され、町に入る者は居住証明の提示を求められた。軍用ヘリコプターが頭上を低空飛行し、装甲兵員輸送車が何十台も旧市場内を走り回った。1940 年代のハリウツドのプロパガンダ映画を彷彿とさせるシーンでは、機関銃を持った兵士たちが困惑した村人たちの間をうろうろし、ピストルを持った将校を連れたヘルメットをかぶった人物が見張り台に陣取っていた。町中には、ブラウナウが戒厳令下にあることをはっきりと告げるポスターが貼られた。水曜日の 14 時から金曜日の 900 時まで、公共の場でのあらゆる形のデモは固く禁じられていると、政府のプラカードは警告した。人以上の大声で話すこと、街頭集会や歩道でのピケッティング、ビラの配布、スローガンの叫び声、さらには「不審な服装」をした者も、オーストリアの「反ナチス」法のもと、即刻逮捕・起訴の対象となった。

自己満足に浸る民主主義の推進者たちは、まさに自分たちが描く "全体主義的ファシスト "の意地の悪い風刺画のように振る舞っていた。しかし、彼らが到着する直前、町にはヨーロッパやアメリカ全土、さらにはオーストラリアや南アフリカ、東洋からの何千人もの「よそ者」が押し寄せた。貧しく小さなブラウナウは訪問者で膨れ上がり、緊迫した期待でますます重苦しい雰囲気包まれた。誰もが噂を口にした。狼男のコマンドーが真夜中にザルツブルクのトールに鉤十字の旗を立てるというのだ。ユダヤ人

暗殺者が夜の街を徘徊していると信じられていた。ミラノから来たテロリストは、市長の家の前でシモン・ヴィーゼンタールの肖像画を燃やそうとしていた。政府軍がザルツブルガー・トールをバリケードで封鎖し、旧市街を立ち入り禁止区域で封鎖しても、市民の不安は解消されなかった。アーチの隙間から向こうの通りが見えたが、その強制的な空虚さが不気味だった。

夜が更ける頃、マーケット広場は、持ち場にいる兵士たちを除いて、ほとんど閑散としていた。しかし、居酒屋やレストランはどこも賑やかな祝賀客でごった返していた。真夜中の少し前、事件が起こり始めた。バリケードのあるザルツブルガー・トアーからほど近いギャン・ホテルでは、誰かがこの店の最高級シャンパンを注文し、誕生日の挨拶で乾杯した。私がいたマイブローのラットケラーでは、ミュンヘンから来た大学生に囲まれた私の隣のテーブルで、一人の青年がスマートに立ち上がり、右腕をガラガラと鳴らして無法な敬礼をし、大声で叫んだ！ジーク・ハイル！ジーク・ハイル！”誰も彼や彼の仲間に構う者はいなかった。

一人だったので、自分のお祝いはもっと静かなものだった。私は近くのマーケット広場まで歩き、村の大時計の下のベンチに座った。空を見上げた。この1週間、中央ヨーロッパのほとんどを覆っていた雲は取り払われ、観測可能な星々が運命的な位置へと踊りながら、威厳ある大時計の図太い肺が真夜中のチャイムを鳴らしていた。この場所に、この瞬間にいること-言葉もない。最後の一打が永遠に響き渡ったとき、私は小さなテーププレーヤーの再生ボタンを押した。バーデンヴァイラー、彼のお気に入りの行進曲がヘッドフォンの中で鳴り響いた。

翌朝、マーケット広場は期待に満ちた大勢の人々でごった返していた。みんな待っているようだった。誰を？まるで、彼自身が今にも現れそうで、おそらく大きな黒いメルセデスに乗って直立不動で立っているようだった。もしかしたら、彼らはそんなことを期待していたのかもしれない。肉体の死後 40 年間、世界の注目を自分の生まれ故郷に集めた男の、生きている魂、感情的に目に見える存在は、より強くなり、より力強く姿を現した。

正午になると、イタリア人ファシストの一团が不思議なことに群衆の真ん中に現れた。そのうちの一人が、当局の圧倒的な存在感に逆らい、スピーチしようとした。「白人種の最も偉大な英雄に誕生日の挨拶を捧げます！彼は血のつながった兄弟姉妹の心の中に永遠に生きている！ユダヤ人チラリズムは許さない”- 兵士たちは彼とその仲間を襲いかかったが、啞然とする見物人に敬礼するまではいかなかった。群衆の中には、あえて敬礼を返す者もいた。他の人々は歓声を上げ、何人かはストームトルーパーの古い歌、"Brüder in Zechen und Gruben "を歌い始めた。警察は、このような回答者までも逮捕のために連行した。

私のささやかな祝典は、この喧騒の裏側、15 世紀に建てられた壮麗な聖ステファン大聖堂のプファルキルヒエ広場で行われた。まず、私は近くの地下の戦没者慰霊碑に降りた。その壁には、ブラウナウの戦没者の名前が刻まれた公の墓碑銘がある。床の中央には、英雄的な死を遂げた兵士が眠っている。北側の壁には、スターリングラードで戦死した戦士たちの名簿が掲げられている。私はここに花束を置き、"そしてあなたはまだ征服していない！"と書かれた小さな巻物を添えた。記念館を出て階段を上り、プファルキルヒエに渡り、祭壇の中央に彼の写真入りの常緑樹の花輪を置き、一番上の捧げ口ウソクに火を灯した。

教壇で瞑想していると、一人の老女が祭壇に入ってきて、私のリースとその写真に気づいた。どうやら雷に打たれたようだったが、彼女は常緑樹を乱すことはしなかった。他の人たちも来て、明らかに驚いてそれを見たが、そのままにしておいた。

私は大聖堂の後方に行き、幼子が洗礼を受けた古代の洗礼盤を見た後、混雑したマーケット広場の明るい日差しの中に戻った。これらのシンプルで静かな出来事は、私の人生の中で最も内面的な感動を与えてくれたこの日の、深い感動と質の高さを伝えきることはできない。あの4月の日まで、私は私たちの成功の見込みにほとんど絶望していた。あの計り知れない災難--第二次世界大戦の敗北--は、回復不可能と思われた。地上文明にとってのあの惨事、悲しい結末以来、この運動は、悪の魅惑的な力が無敵に見える時代であって、前進し、挫折し、そしてまた前進してきた。

しかし、その4月20日、彼の生誕100周年記念日に、彼の聖なる生家で、私は、この運動の発展と進歩を自分の狭い時間の中に閉じ込めて評価していたことに、予期せぬ気づきを得たのである。彼の思想は永遠のコンセプトである。彼が動き出した歴史的な結末は、年月とともに、そしてはるか未来へと、抑えがたい勢いを増していく潮流のような出来事である。私たちの運動は、自然の法則を人間の問題に適用したものであり、自然は全能である。一時的には阻止されるかもしれないが、その力はフラストレーションを募らせ、やがてかつてないほど猛烈な勢いで押し寄せる。

4月21日、当局が彼の家へのバリケードを解除した後、群衆はメッカの聖石を囲むモスレムのように、彼の家に向かって押し寄せた。私は多くの見知らぬ人たちの中にいたが、私たちは皆、突然、互いに親近感を覚え、亾

の兄弟姉妹であると感じた。彼の精神は私たち全員を包み込み、同志として、未来への安心感で満たしてくれた。敵対する世界の中で、この特別な時に、私たちが地球上のあらゆる場所からこの場所に集まったという事実だけでも、その思想がまだ生きていう十分な証拠であった。私たちは、無知と悪の広大な夜に囲まれて誕生日のろうそくに火を灯すという、またとない瞬間にここに集まった私たちを、未来の世代がうらやむだろうという意識に、ただならぬ誇りを感じた。その炎は同時に、私たちの人種的同胞を啓発する烽火となり、私たちの後世を毒する者たちを焼却する炎となって燃え広がるだろう。

ブラウナウ・アム・インに来たのは、彼の思い出を称えるために、私にできるささやかなお祝いをするためだった。しかし、彼は私に、人生そのものと同じくらい偉大な贈り物を与えてくれた。ハイル・ヒトラー1000 回
イ ル ・ ヒ ト ラ ー



NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITSPARTEI AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION

Der Kampf geht weiter !

Seit 70 Jahren nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung wieder als 2. große Partei in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Mehrheit von Massenarbeit, Vorkriegszeit, Verfügung und Verfügung haben nicht ausgereicht, die Kräfte der gesamten Welt werden heute globalen Führer Adolf Hitler zu vereinen.

Alle Nationalsozialisten sind unentgeltlich. Volk- und Kameraden werden nicht an Schulen im Kampf um die Erfüllung unserer wahren Visionen.

Die Bewegung ist nicht militärisch geworden, aber die Größe des heutigen Volkstums ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Der vorwiegend gegen die Juden, die Völkermord – gegen alle weißen Völkern (J – im beginn, seine Mittel und Einrichtungen, Überlebende und Zusammenbruch).

Ob "jude" oder "jüdisch", ob im Weltkrieg oder im Stromkampf, ob im Freigedankensystem bewahrt oder auf einem schicksalhaft anderen Art. Jede Nationalsozialist ist seine Pflicht!

Hut Hitler!
Gottfried Loeb



TROTZ VERBOT NICHT TOT!



N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)
NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー
第3部

NSDK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものですね。

このような議論が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主にAdolf Hitler and the Army of Mankind (www.mourningtheneicent.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在21ページですが、まだまだやることがたくさんあります。第二次世界大戦の執筆は、まさに情報の地雷原です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も



the **NEW ORDER**

Number 179 (197) Founded 1978 April 26, 2022 (133)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware countermovers and racial knowers fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The despotic enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture distortion, and race-mixing.

Whether "jude" or "jüdisch", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

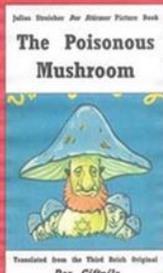
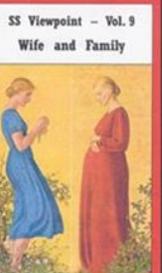
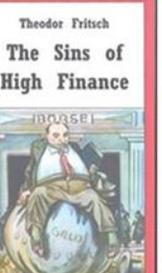
Hut Hitler!
Gottfried Loeb



TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト

<p>SS Defender against Bolshevism by Reichführer SS Heinrich Himmler</p> <p>FOR DANMARK! MOD BOLCHEVISMEN!</p>  <p>Translated from the SS Original</p>	<p>Julian Steinbock der Rittmeister Pflanz Book</p> <p>The Poisonous Mushroom</p>  <p>Translated from the Third Reich Original Der Giftpilz</p>	<p>Reinrich Reiffmann</p> <p>Hitler in Italy</p>  <p>English / German Deutsch / English</p>	<p>SS Viewpoint – Vol. 9 Wife and Family</p> 	<p>Theodor Fritsch</p> <p>The Sins of High Finance</p> 	<p>Luftwaffe War Art Die Luftwaffe im BMD</p>  <p>English - German / Deutsch - English</p>
---	--	---	---	--	---

BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org
Contact us to
find out how
YOU can help!